

第7回「市長と語るタウンミーティング」を開催しました

1 日 時 令和5年8月17日(木曜日) 午後7時～

2 場 所 市役所1階 ロビー

3 参加者

空き店舗等活用事業者

浪花 様

空き店舗等活用事業者（事業開始前）

中川 様

事業承継者

牧野 様

空き店舗等活用支援事業認定審査委員

角野 様

かがわ産業支援財団理事長

近藤 様

計5名

4 会議の概要

【テーマ】事業者支援策について

1. 開 会

2. 主催者挨拶

3. 参加者紹介

4. 事業者支援策に関する現状等 概略説明

5. タウンミーティング

6. 閉会

5 いただいたご意見

発言者	ご意見
【テーマ】事業者支援の現状と課題	
<p>空き店舗等活用事業者 浪花 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前と比べて活気自体がなくなってしまったこと、タクシーがほとんどなくなってしまったことといった外部環境から、善通寺市で事業を行うのは難しいと感じる。 ・自分自身事業を行う中で、飲食だけでは厳しいと感じ、福祉サービスの事業も始めている。市の現状では、1つの事業だけでなく、事業の複線化を視野に入れた事業展開も必要ではないか。
<p>空き店舗等活用事業認定審査委員 角野 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等活用支援事業認定審査委員をしている中で課題だと感じるのは、支援が終わった後でも事業を継続できるのかということ。補助事業は2年が最長であるが、2年前後で廃業しているケースが多いと感じる※。 ・2年以上事業が継続できるような仕掛けが必要ではないか。たとえば、空海 NAVI を充実させて、これを見れば善通寺市の店が全て分かるようにすると、こんなお店があるのだと知ってもっと人が来てくれるのではないか。 <p>※定着率（市の支援を受けた後現在まで事業を継続している割合）は49%。現状、支援を受けた事業者の過半数が廃業している。</p>
<p>空き店舗等支援事業者（事業開始前） 中川 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高松などと比べると、家賃等が安く初期コストやランニングコストが抑えることができるのが善通寺市の魅力。地に足をつけて地道にやっていくような商売はやり易いと思う。 ・コンセプトや独自性がなければ、商売を続けるのは難しいと感じる。それらを持っている事業者に来てもらえるよう、補助を出す際にある程度の絞ったり、補助を手厚くしたりするのも良いのではないか。

発言者	ご意見
<p>事業承継者 牧野 様</p>	<p>・長らく県外に居住していたが、帰省する度に寂れていっているというのは感じていた。特に赤門筋※をなんとかして欲しい。</p> <p>・両親から商売を引き継いでいるところだが、両親では目が届かなかったことを改善していくことで、既存の常連客とは違う客層の方が来てくれるようになった。そのようなお客さんの中には、SNS で拡散してくれる方や動画をあげてくれる YouTuber もいる。現在、ホームページなど立ち上げていないが、店を紹介して下さる方々のお蔭で宣伝ができています。</p> <p>※総本山善通寺の東門はその塗装から「赤門」とも呼ばれている。この門から続く赤門筋商店街は、かつては丸亀・多度津からの参拝客で賑わっていた。</p>
<p>かがわ産業支援財 団理事長 近藤 様</p>	<p>・電車やバスが庶民の足であった頃は赤門筋に優位性があったが、現在は車中心の生活となり、まちの構成も変わってしまっている。かつてのような賑わいを取り戻すのは難しいのではないか。</p> <p>・熟度の低い事業者の認定審査は採択せずに、ブラッシュアップしてより良い事業計画に作り直して再チャレンジをしてもらうことも大事。</p> <p>・行政のサポートとしては、一つの店舗に来た人がそこから別の店舗に行けるような、例えばスタンプラリーなどゲーム的な要素を入れて回遊のルートを作るようにしてはどうか。</p> <p>・飲食店は店が一つポツンとあるよりも、いくつか違う種類の店が近隣にあった方がお互い栄えるという側面がある。この店が混んでいるので先にあの店に入ろうだとか、食事の後に美味しいコーヒーを飲みたいだとかいうことができるため。そのような回遊性のつくサポートをしていくことが大事。たとえば、その地域で不足している業種を調べて、事業者にそこで事業をしてもらえるよう誘導支援するといったサポートをしてはどうか。</p>

発言者	ご意見
【テーマ】事業者支援のために何をすべきか	
<p>かがわ産業支援財 団理事長 近藤 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定のアプリやサイトよりも Google マップに店舗情報を載せる方が手軽で費用がかからないという優位性がある。IT が苦手な事業者にも活用してもらえよう技術的なサポートをすれば、市内の様々な店をインターネット上で探すことができるようになるのではないかと。 ・立地や周辺の史跡、人の配置などを複合的に考えながら、まちづくりができる人の集団というのが大切。複層的な仕掛けをどんどんやっていけるような発想豊かで IT にもある程度強くデザイン思考もあるような人材が、グループを作って皆で楽しみながらやっていくようなチームができれば、良いまちづくりができるのではないかと。
<p>空き店舗等活用事業 認定審査委員 角野 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・弘法大師空海御誕生 1250 年祭の期間中、駅前に観光案内所を設置したところ、立ち寄ってくださる方、チラシを持って行ってくださる方が想定より多かった。インターネットでの情報発信も大切だが、それ一辺倒ではなく紙ベースなどのアナログな PR や案内も引き続き行うべき。 ・空き店舗の情報と求人の情報など、現状では複数の情報を探す場合、様々な窓口に行く必要がある。ワンストップサービスを受けられるような一本化した窓口があれば、利用者の様々なニーズに応えることができ利便性が大幅に上がるのではないかと。

発言者	ご意見
空き店舗等活用事業者 浪花 様	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に空き店舗等を活用し事業を行っているが、使用できる空き店舗等を自分で探して来なければならず、苦勞した。空き店舗等活用事業者の事業定着率が 49%程度であるのであれば、廃業した事業者の利用していた空き店舗等の情報の提供を受けたい。 ・空き店舗等活用支援事業では、貸主にもメリット（当該空き店舗等の一定期間の固定資産税免除）があるが、あまり知られていないのではないかと。制度を広く周知して貸主の方が増えるようにしてほしい。
空き店舗等支援事業者（事業開始前） 中川 様	<ul style="list-style-type: none"> ・開業準備をする中でネックだったのが駐車場問題だった。事業者支援として駐車場問題が解決できるようにした方が良い。 ・人と人との信頼や信用で、紹介や良い情報が入ることがある。行政は介入しづらい領域なので、行政の前にひとつ組織があって、そこで人と人を繋げるようなことができれば良いのではないかと。そのような組織を作りたいと考えている。
事業承継者 牧野 様	<ul style="list-style-type: none"> ・現在（令和 5 年 8 月現在）行われている善通寺うどんデジタルスタンプラリーのように、集客に繋がるイベントを今後もして欲しい。 ・様々な方に来ていただきたいので、IT の技術支援などあれば積極的に利用したい。